

■ ■ 2024年6月:特集レポートダイジェスト ■ ■

特集①) 2024年上半期 首都圏新築マンション市場動向 P.1～11

- 【1】 2024年上半期(1-6月)のマーケット動向  
供給傾向(供給戸数・供給エリア)、商品傾向(坪単価・価格・面積)など
- 【2】 2024年上半期の価格傾向/最大価格でみた供給動向
- 【まとめ】

特集②) 2024年上半期のお客様動向: P.1～11

長谷工アーベスト販売提携物件:首都圏新築マンション購入層分析より

- 【1】 新築マンション購入者の傾向
- 【2】 『借入額』・『自己資金額』
- 【3】 夫婦での資金計画
- 【4】 買い上がりの状況
- 【5】 購入者の資金計画事例①～⑥

【資料】【まとめ】

TOPICS) 最近のトレンドワードより P.1～4

～新築マンションで採用が進むプラン・設備仕様～

- ◇環境配慮(省エネ・断熱)
- ◇健康・快適 ウェルビーイング
- ◇家事楽・時短

～次号(2024年7月)の予定～

◆特集レポート

- ・(仮) 2024年下半期 首都圏新築マンション市場の見通し
- ・(仮) 2024年7月 お客様意識調査  
～価格上昇が更に進む中での購入マインドは?～

特集①) 2024年上半期 首都圏新築マンション市場動向

2024年上半期の供給戸数は、約12,300戸(前年同期比▲4%)と僅かながら減少。「継続物件」の供給は、コンスタントに進捗が図れたものの、「新規スタート物件」は、高値追及により、戸数を調整しながらの供給傾向が更に進行。  
 但し、価格上昇が進む中、“価格優位性の変化”や“需給環境の改善”により、販売は進捗がみられており、マーケットは概ね順調な動きとなった。  
 本レポートでは、こうした2024年上半期の市場について、下記項目等を分析、直近のマーケット傾向を確認した。

【分析項目】

- ・2024年上半期の供給戸数・供給エリア、坪単価・価格・面積・価格帯など
- ・2024年上半期の最大価格でみた供給動向  
「最大価格2億円以上」「最大価格1億円台」  
「23区以外:最大価格7,000万円以上」 等

特集②) 2024年上半期のお客様動向:

長谷工アーベスト販売提携物件:首都圏新築マンション購入層分析より

価格上昇が進む2024年上半期の新築マンション購入者の傾向について、弊社販売提携物件の購入者より実態を確認。

夫婦での資金計画(ペアローンの利用状況)や、「予算」と「購入価格」の関係(≒買い上がりによる購入)、購入事例等から、2024年下半期のお客様動向について考えた。

TOPICS) 最近のトレンドワードより

～新築マンションで採用が進むプラン・設備仕様～

世の中で、「環境配慮」「健康・快適ウェルビーイング」「家事楽・時短」等が、商品の付加価値として注目されており、新築マンション市場における、そうしたトレンドワードに関するプランや設備仕様を紹介。また、2024年4月からスタートした「省エネ性能表示制度」や「ZEHマンション」の状況についてまとめた。